

令和6年8月1日

## 令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園  
大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校  
学校関係者評価委員会

学校法人大原学園 大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校、学校関係者評価委員会は、令和5年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告致します。

### 1. 実施日

令和6年8月1日

### 2. 学校関係者評価委員

高島 玲佳 氏 (株式会社サップス)

吉原 敏高 氏 (株式会社サップス)

中辻 良平 氏 (医療法人相愛会 相原第二病院 事務部長)

(事務局)

宮路 信美 (大原学園難波校 校長)

藤川 宏明 (大原学園難波校 部長)

松本 直樹 (大原学園難波校 部長代理)

山本 省二 (大原学園難波校 課長)

## 令和5年度自己点検・評価の概要

(事務局)

大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校の2023年度における自己点検・評価については、一般的に良好な結果であった。

学校運営は、意思決定システムが確立されており、円滑な運営が行われている。また、教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、教育理念を達成するための事業計画の策定、各種研修制度の確立を通じて有為な人材育成が行えている。

また、学校運営として、予算計画・執行は規定に従って適切に行なわれており、財務状況も安定している。

昨年度は、学校関係者評価委員の皆様より、「退学率の低減」、「教員の資質向上」、「課外活動(クラブ)の支援」の3点に関してご助言を頂戴し、重点的に改善に努めてきた。具体的な取り組みとしては、保護者等と連携を強化し情報共有体制を構築、コミュニケーション能力の向上を目的とした勉強会や外部の研修に参加、クラブ活動を通じた人材育成を行ったが、一部目標未達成の部分もあり課題も残る結果であった。

2024年度においては、引き続き教育目標の達成並びに昨年から継続している課題対策に加え、新たな重点目標を挙げ、更なる教育環境の充実を図るべく各種取り組みを行う計画である。

## 令和6年度 重点目標①

学外実習インターンシップ、海外研研修等の実施体制

### <現状・達成指標>

達成度 70%

実習や研修等の参加については事前に外部機関と実習内容や研修内容の打合せを行い、期間中は職員が訪問・引率し、事故やトラブルにならないように十分注意している。語学研修については、学内の説明会後に学内でのオンライン語学学習を経て現地学習に入る体制ができている。

### <具体的方策>

年々学生の状況も多様化し、教員の学生指導に求められるスキルが高まっていることから、学園共通の教員研修への参加に加え、学生指導力に特化した研修の実施。更に、自部署以外の管理職やベテラン教員による講義研修も実施を計画している。

### <学校関係者評価委員からの提言>

- ①学外の実習は現在行っているもので十分であると考えているが、インターン実習を積極的に取り入れ学生の成長機会を更に設けても良いのではないかと。インターン実習をすることで志望先が変更になることもあるが、早期に志望先を明確化できるメリットもある。
- ②アルバイトとは違い、将来をイメージした仕事体験は学生にとっても貴重な体験であり、早期内定が期待できる。また、企業との関係性も今まで以上に構築できるのではないかと。
- ③大原の病院実習を受け入れているが、問題なく実習が行えていることから事前指導をされている様子が伺える。今後、IT化が進み今より個人情報の取り扱いに注意しなければならないため、IT化に伴う個人情報の取り扱いに関しても事前指導をしても良いのではないかと。

## 令和6年度 重点目標②

学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献

### <現状・達成指標>

達成度70%

生涯学習事業や附帯教育事業を通じて、幅広い年齢層に対して教育サービスの提供を行っている。通信講座も幅広く展開している。

### <具体的方策>

社会人の学び直し等、新たな教育環境の整備を検討する。

### <学校関係者評価委員からの提言>

- ①子供から高齢者まで受講(聴講)できる教育資源は積極的に活用した方が良い。また、施設や設備の貸し出しなどで地域や企業との繋がりを強化できる。
- ②スポーツ業界の社会貢献は非常に重要であり、プロチームでも積極的に行うことでチームや企業のネームバリューを高めている。ボランティアなどを学生とともに行うことで地域貢献し、学校のネームバリューを広めることにもなり、学生にとっても良い経験となると考える。
- ③在学中は気付かないと思うが、社会人になってから、学んだ方が良いとする知識もあるため、生涯教育事業の取り組みは良いと思う。社会人1年目であれば、まずは自分の専門分野の知識を身に付けて欲しいが、数年立てば医療分野だけでなく、会計やITなどの新たな知識を身につけられれば、活躍の場も広がると思う。

## 令和6年度 重点目標③

退学率の低減

### <現状・達成指標>

達成度70%

事業計画における最重要課題の1つとして、退学率の低減に向けた取り組みを強化している。近年、経済的理由、精神疾患等で退学を余儀なくされる学生が増加している。退学可能性がある学生の早期発見のために、教員の学生指導力(コミュニケーション能力)の向上、事例に基づく指導方法の確認、担当者間の情報共有を実施している。

### <具体的方策>

ご家庭と連携した指導を実現できるように、退学の兆候が発見された段階で、保護者等との連絡を密にするようにしている。また、早期の段階で管理者含め指導に入るなど退学者の減少に努めている。

### <学校関係者評価委員からの提言>

- ①挨拶程度のコミュニケーションは取れるが、それ以上の会話が續かないなどアルバイトやインターン生を見て自己を表現することが苦手な若者が増えた印象がある。自己表現の機会を授業などで多く設け、積極的にコミュニケーションが図れる人材育成が必要と感じる。
- ②日頃から些細なことでも会話ができる関係性の構築が必要ではないか。また、明確な目標や目的を理解させ、迷わせないことも重要である。
- ③仕事でも同じような事が言えると思うが、学生の変化に気づき、どのようなアプローチを取っていくかが大切だと感じる。職場でも退職したい職員の声を聞くと、人によっては自分が直接引き留めた方が良い事もある。ただ、自分以外の方が良い場合もあるため、その時は職場の同僚から声をかけてもらったりして、なるべく退職に至らないようにしている。但し、個人のプライバシーに関わる為、十分な配慮が必要である。

## 全体評価と総括

(学校関係者評価委員)

今年度重点的に取り組む項目として、「学外実習インターンシップ、海外研修等の実施体制」「学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献」「退学率の低減」が挙げられ、学校関係者評価委員として現場のニーズを肌で感じることの重要性について各種ご助言があった。実践的教育を検討していく方針は委員としても同意見であるとともに教育効果を期待する声があった。今後も学校関係者一同、客観的な視点から様々な提言を行い、大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校が社会の信頼を得られるようご協力いただきたい。

(事務局)

大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校では、スポーツトレーナーやスポーツインストラクター等を目指すスポーツ系分野、医療事務や医療秘書等を目指す医療系分野を有しているが、資格取得および実技指導においても一定レベルの教育成果を残すことが出来た。今後も、高い専門性を有して社会で即戦力となる人材育成を担うことに変化はないが、業界や学生のニーズを的確に捉え、対応する必要がある。社会から専門学校に求められる知識・技能教育について、より良い教育が提供できるよう学校関係者評価委員からのご助言を受け、常にブラッシュアップを図りたいと考える。

文責：松本 直樹